

ディズニーによるOpenAIへの1500億円出資と 「Sora」提携：背景と反響

出資の背景と目的（ディズニーとOpenAIの狙い）

ディズニー側の狙い: ウォルト・ディズニー社は近年、生成AIによる著作権侵害に厳しい姿勢を見せてきましたが、今回OpenAIと手を組むことで戦略を「訴訟から共存」へ180度転換しました^{1 2}。背景には、無許可のAI生成コンテンツがネット上に溢れ「AIスロップ（粗悪なAI作品）」がブランド価値を損なうリスクがあったことがあります³。自社IPを公式にライセンス供与することで**コンテンツ品質とブランド統制権を確立**し、許可なくディズニーキャラを無断学習・生成するAI企業への牽制としました⁴。実際ディズニーはOpenAIとの交渉を通じ、「許可を得て対価を支払うAI」を選ぶ方針を鮮明にしており⁵、GoogleやMidjourneyなど無断利用には法的措置（著作権侵害での停止要請や提訴）で臨んでいます^{6 7}。つまり「味方にはIPを提供し、敵には制裁」という二面的戦略で、自社コンテンツの保護と収益化を図っているといえます。

加えて、ディズニーはこの提携で**AI技術を積極活用して本業強化**を目指しています。OpenAIのAPIやChatGPTを導入し社内ツールやDisney+向け新製品を開発する計画で^{8 9}、生成AIで映画制作を効率化してコスト削減を図る狙いもあります^{8 10}。さらに、ボブ・アイガーCEOはAIを「エンタメ業界の重要な転換点」と捉え、OpenAIとの協業で**クリエイターを尊重しつつ新たな物語表現を広げ**ると述べています¹¹。事実、アイガー氏は以前からSam Altman氏と「ディズニーの物語とキャラクターで生成AIの可能性を示す」ことを協議しており¹²、2025年11月の決算説明でも「Disney+利用者が短編UGC（ユーザー生成コンテンツ）を作成・視聴できるようにする」と示唆していました¹³。これは、YouTubeやTikTokの台頭で**若年層の視聴時間を奪われている**状況への対策でもあります^{14 15}。実際、米国におけるDisney+などのシェアは頭打ちで、YouTubeがTVストリーミング視聴の約13%を占めるまで拡大しています¹⁴。ディズニーは**ファン参加型の新たな体験**を提供することで若い層との関係を深め、プラットフォームへのエンゲージメント向上という喫緊の課題を解決したい思惑があります^{16 17}。さらに、Epic Games (Fortnite) への出資やWebtoonとの提携など、他分野でもUGCやインタラクティブな取り組みを進めており¹⁸、OpenAIとの協業も**次世代エンタメ戦略の一環**と位置づけられます。

OpenAI側の狙い: 一方、OpenAIにとってディズニーからの10億ドル（約1500億円）出資は、資金調達面だけでなく**世界有数のコンテンツ企業との提携という大きな後ろ盾**となります^{19 20}。Soraでディズニー公式キャラクターを扱えることは、競合他社にない独自資産となり、大衆にもアピールしやすいサービス強化です。Altman CEOは「ディズニーはストーリーテリングの世界的なゴールドスタンダードだ。この提携でAI企業とクリエイティブ企業が協力し、創造性を尊重しつつ社会に有益なイノベーションを促進できることを示したい」と述べており²¹、**IPホルダーとの共存路線**を強調しています。ディズニーに正式に認められた形で人気キャラを生成AIに取り込むことは、法的リスクの低減とブランド力強化につながり、OpenAIとしても**サービス利用者拡大と社会的信頼の向上**が期待できます^{22 23}。また、ディズニーを「大口顧客」としてChatGPTやAPIを使ってもらうことで安定収益源を確保でき⁹、将来的な追加出資の権利（ワラント）を与えることで資本関係を深め、OpenAIの企業価値向上にも寄与するでしょう¹²。この提携はハリウッドとAI企業の**歴史的融合**とも評されており²⁴、生成AIの活用法を模索する業界にとってもモデルケースとなる動きです。

Soraとディズニーキャラクターの連携内容

「Sora」とは: SoraはOpenAIが開発した**短編動画生成AIプラットフォーム**で、テキストのプロンプトから数秒で高解像度の短い映像クリップを作り出せるのが特徴です²⁵。2024年末に研究プレビューを終えて正式公開され、ChatGPTプラス会員向けに提供が開始されました²⁶²⁷。現行バージョンでは**最大20秒、1080p画質**までの動画を16:9や縦長など任意のアスペクト比で生成可能で、フレームごとに詳細指定できるストーリーボード機能や、ユーザーコミュニティの作品フィードも備えています²⁸²⁹。月50本（480p）までといった使用制限内であれば追加料金不要で、より長尺・高解像度を求める場合はProプランで拡張もできる仕組みです²⁷。OpenAIはSoraの投入について「社会と協働して責任ある使い方の規範作りを進めるため、早期に技術を公開した」と説明しており³⁰、透かし埋め込みや生成物検出ツール、成人や不適切コンテンツのブロックなど安全対策にも注力しています³¹³²。

ディズニーキャラクター提供の内容: 今回の提携により、ディズニーは**初の主要コンテンツ提供パートナー**としてSoraに参加します³³。契約は3年間で、**ディズニー傘下4ブランド（ディズニー、ピクサー、マーベル、スター・ウォーズ）のキャラクター200体以上**が公式にSoraで使用可能になります³⁴³⁵。対象にはミッキーマウスやミニーマウス、リロ&スティッチ、アリエル、シンデレラ、ベイマックス、ライオンキングのシンバやムファサ等のディズニー/ピクサーの人気キャラクターに加え、『アナと雪の女王』『トイ・ストーリー』『ズートピア』『モアナ』など近年の作品の主要キャラも含まれます³⁶。さらに**マーベルやルーカスフィルム（スター・ウォーズ）のキャラクター**もアニメ・イラスト版で提供され、アイアンマン、キャプテン・アメリカ、ブラックパンサー、デッドプール、グルート、ソー、ロキ、ダース・ベイダー、ルーク・スカイウォーカー、レイア姫、マンダロリアン、ストームトルーパー、ヨーダ等が名を連ねています³⁷。これら既存キャラクターに加え、それぞれの**世界観に登場する衣装・小道具、乗り物、象徴的な背景環境**も生成時に利用できるとされ³⁵³⁸、ユーザーは多彩な組み合わせでファンアートの映像作品を作れるようになります。

ただし契約には**明確な除外事項**もあります。**実写俳優の容姿や声**は一切提供されず、あくまでキャラクターのデザインや設定上の人格のみが対象です³⁹⁴⁰。例えばマーベル作品でも俳優ロバート・ダウニーJr.の顔や声真似は使えませんが、アイアンマンのスーツ姿やコミック調のビジュアルであれば使用可能ということです。また品位保持のため、キャラクターが不適切に描写されるのを防ぐ**安全ガード**も設けられます⁴¹。OpenAIは年齢相応の利用制限や有害コンテンツ抑止の**業界トップ水準の安全策**を維持すると約束しており⁴²⁴³、ディズニーも生成物の権利者保護や個人の肖像権尊重のためのコントロールにコミットしています⁴³。

サービス提供と利用方法: 一般ユーザーは**2026年初頭から**Sora上でこれらライセンス付与キャラクターを使った動画を生成・共有できるようになります⁴⁴⁴⁵。同様に、OpenAIの画像生成機能（ChatGPTの画像生成、いわゆる「ChatGPT Images」やDALL-E）でもディズニー提供のIPを素材に画像を作成できるようになります³⁹⁴⁶。作成されたファン動画の一部は**ディズニーによる審査・キュレーションを経てDisney+で公式配信**される予定で、優秀な作品は世界中のファンが視聴可能となります⁴⁷⁴⁸。なお現時点ではSoraはOpenAIのサイト（アプリ）上での提供ですが、アイガーCEOは将来的に**Disney+プラットフォーム内でユーザーが直接AI動画を生成できる機能**の実装も視野に入れていると述べています⁴⁹¹⁶。これは将来、ファンがDisney+上でインタラクティブに物語創作を楽しめるようになる可能性を示唆しており、ディズニーとしてUGCを公式サービスに取り込む大胆な展開です。

AI業界・エンタメ業界の専門家の反応

ハリウッドのクリエイター・組合の反応: 今回の提携発表は、ちょうど脚本家組合（WGA）や俳優組合（SAG-AFTRA）のストライキ終結後というタイミングもあり、クリエイター側から慎重かつ懸念混じりの声が上がりました。WGA西部支部は「我々の作品の価値をテック企業に譲り渡すように見える」と強く非難し、OpenAIが過去に無断学習で築いたビジネスだと指摘した上で「この合意は我々の作品盗用を公認しているようだ」と声明を出しています⁵⁰。またディズニーに対し、ユーザー生成動画で組合員の脚本がどの程度

使われるのか確認するため**直接協議に臨む意向**も示しました⁵¹。アニメーターの労働組合である**アニメーション・ギルド**のダニー・リン会長も、たとえキャラクター自体の権利は会社にあっても「アニメーターこそがそれらを生み出し価値を生んできた」と述べ、**アニメーター報酬への影響**を懸念する考えを表明しています⁵²⁵³。SAG-AFTRA（全米映画俳優組合）はディズニーおよびOpenAI双方から事前説明を受けたことを明かし、「倫理的で責任ある技術利用を保障する内容だと説明を受けた」とコメントしています⁵⁴。肖像権や声真似、知的財産権について組合員の懸念に配慮し**継続的に対話している**とも述べており⁵⁵、俳優側は現時点では慎重な様子見ながらも関与を続ける構えです。

ハリウッドの人材エージェンシーも動きを注視しています。大手CAA（クリエイティブ・アーティスツ・エージェンシー）は数ヶ月前、OpenAIのSoraについて「アーティストを重大なリスクに晒す」と公に批判し、プロが適切に報酬を得られるのか疑問を呈していました⁵⁶。今回ディズニーという大手スタジオが提携に踏み切ったことで、業界内では**「ついに主要スタジオがAIを受け入れた」**との衝撃が走っています²⁴。一方で「既存の人気IPに頼りファンに二次創作させる方向は、新規コンテンツ創出の減少につながる」と懸念する声もあります⁵⁷。テック主導アニメ制作会社ToonstarのCEOジョン・アタナシオ氏は「ユーザー創作（UGC）は普通はニッチだが、有名IPを使えば潜在的な視聴者層が格段に広がる」と提携効果に一定の理解を示しつつも⁵⁸、「これは**過去作品の再利用であって、新しいオリジナル作品を生むわけではない**」と指摘しています⁵⁷。また同氏は将来的に「Disney+内でAIツール利用に課金するビジネスモデルや、UGCからヒットコンテンツの芽を見つける展開もあり得る」と分析しており⁵⁸、今回の提携を**新たな収益源・IP開発手法**として評価しています。

AI業界・テック専門家の見解：AI分野からは、この提携は「ハリウッドが生成AIを脅威から戦略的パートナーへ位置づけ直した瞬間」だとの声もあります⁵⁹。実際、ロイターは「これはハリウッドが生成AIを受け入れる画期的ステップ」であり、従来懸念されてきたクリエイターの雇用や著作権問題を乗り越える試みだと報じました⁶⁰。OpenAIのサム・アルトマンCEO自身も「今回の合意はAI企業とクリエイティブ業界リーダーが協力して社会に資するイノベーションを推進し、創造性の重要性を尊重しつつ作品を新たな観客に届ける方法を示すものだ」と強調しています²¹。一方で、市場調査会社エーマーカーターのアナリスト、ロス・ベネス氏は「組合側の力には限界があり、AI生成メディアの勢いはもはや止められないだろう」と述べ、業界のAI化は既定路線との見方を示しました⁶¹。また、BCGシニアアドバイザーのDoug Shapiro氏は「伝統メディア各社はユーザー参加型の新手法でファンとの関係を深めようとしている。**エンゲージメント獲得競争はゼロサムゲームで現状負けつつあり、手を打たねば悪化するばかり**」と指摘しています⁶²。このように、**従来型メディアの危機感とAI技術への期待**が専門家からは聞かれ、ディズニーの動きは業界全体の戦略見直しを象徴するものと受け止められています。

投資家・市場からの評価：投資家目線では、今回の出資提携はディズニーの**長期成長ストーリーに新たな層を加える戦略的転換点**と評価されています⁶³。発表翌日の株式市場ではディズニー株（NYSE: DIS）が約2%上昇し、1株110ドル前後まで値を上げました⁶⁴。市場全体がこの提携を好感した背景には、ディズニーがAIを取り込むことで将来的な収益機会が増すとの期待があります。例えば**Disney+の差別化**（ユーザー参加型コンテンツ導入による加入者エンゲージメント向上）や、**制作コストの効率化**（AI活用での制作期間短縮や省人化）による利益率改善などが考えられます。ウォール街のアナリストも概ね前向きで、ディズニー株の投資判断を「買い」とする声が目立ち、AI活用によるコンテンツ制作・配信強化に「慎重ながらも楽観的な見方」を示しています⁶⁵。特に、アイガーCEOがテック分野に精通した元アップルCOOのジェフ・ウィリアムズ氏を取締役に迎えるなど、近年ディズニーが**技術革新に本腰を入れている点**も投資家の信頼感に繋がっているようです⁶⁶。一方で一部には「OpenAIは当初市場の救世主と期待されたが、AIブームの熱狂と規制リスクが高まり**重荷にもなりつつある**」との指摘もあり⁶⁷、莫大な投資が本当に実を結ぶか慎重に見極めるべきだという声もあります。しかしディズニーはOpenAI株式のワラント（追加取得権）も獲得しており¹²、将来OpenAIの企業価値が上昇すれば**金融投資として大きなリターン**も望めます。総合すると、今回の提携は伝統メディア企業ディズニーが自社の強み（IP資産）を梃子にAI時代へ乗り出した動きとして、投資家には**攻めの一手**と受け止められています。

SNS上の一般ユーザーの反応

一般ユーザーの反応は賛否両論ですが、特にクリエイティブ層のファンからは**失望や懸念の声**が多く見られました。Twitter(X)上では「これで我々は**魂のないスロップ（生ゴミ）だらけの新時代**に突入した。芸術や労働、環境、エンタメ界全てにおいて深く非倫理的だ」とディズニーの決定を糾弾する投稿が拡散しました⁶⁸。かつてディズニー作品を愛してきたファンほどショックが大きいようで、「ボブ・アイガーも結局ザスラフ（※大量コスト削減で批判されたワーナーCEO）と同類だ」という怒りの声もあります⁶⁹。また「たった一言で言えば：スロップだ（ゴミだ）」と酷評するユーザーもあり⁷⁰、生成AIで量産された低品質な二次創作コンテンツが氾濫する未来を憂慮する意見が目立ちました。

特に多く聞かれるのが「**AIはアーティストから作品を盗んでいる**」という批判です⁷¹。ディズニーがそうしたAIに自ら iconic な作品群を提供することに「自分たちの大切な作品を切り刻んでスープの残りカスにする行為だ」と失望するファンもいます⁷¹。環境への悪影響（大規模計算資源の消費）を指摘する声もあり、総じて今回の提携をディストピア的だと捉える層がSNSでは目立ちました^{71 72}。

一方で、一部ではブラックユーモア的な反応も見られます。あるユーザーは「**ミッキーマウスに史上最悪の犯罪を犯させてやるつもりだよ**」と投稿し⁷³、ディズニーが提供したキャラを取って過激な用途に使ってみせるという皮肉で抗議しました。この発言「子ども達を混乱させる何と恐ろしい方法だ」という別のユーザーの嘆きと対になっており⁷³、**子ども向けの象徴であるミッキーですらAIのおもちゃにされる現状への嫌悪感**にじみ出ています。実際、子供の憧れるヒーロー達がファンの手で改変され拡散されることで、「何が公式で何が二次創作か区別がつかなくなり子供に悪影響ではないか」という声もあります。子供のメディアリテラシーやブランドの一貫性に与える影響を不安視するユーザーもあり、「ディズニーが**子どもの夢を混乱させる暗黒の一手**を打った」と嘆くコメントに多くの「いいね」が付いていました⁷³。

もっとも全員が否定的というわけではなく、テクノロジーに前向きなファンからは期待の声も上がっています。ある30代のディズニーファンは「誕生日メッセージ動画をキャラクター同士の共演で作ったりできそう！」と**創作意欲を掻き立てられる**と語り、特にDisney+に統合され簡単に使えるなら自分も利用したいと好意的な反応を示しました⁷⁴。このファンは「AIの負の側面にも注意すべきだが、ディズニーが proactive（先手）を打って公式にやるのは賢明だ」と述べており⁷⁵、むしろ無秩序なAI利用を公式が抑制し健全な範囲で楽しめるようにする動きを支持しています。一部のYouTubeコメントやReddit議論でも「どうせ野放図に作られるなら公式で管理した方がいい」「ファンが自分のアイデアを動画にできるのは純粋に楽しみ」という声が見られ、**クリエイティブな遊び場として期待**するユーザーも少なくありません。

総じてSNS上では否定派・懐疑派が大勢を占め、「ディズニーまでAIに魂を売ったのか」と嘆く声が強くと可視化されました⁷¹。しかし同時に、「時代の流れだから仕方ない」「新しいファン体験として面白そう」という受け止めも一定数あり、**世代や立場によって温度差のある議論**となっています。

株式市場や企業業績への影響

ディズニー株価は提携発表直後に上昇し、12月11日の終値ベースで前日比+2.2%の111ドル前後まで上昇しました⁶⁴。市場はこのニュースを**ポジティブサプライズ**と捉え、ディズニーがAI時代にに向けた攻めの一手を打ったことを評価した形です。「ディズニーは長期成長ストーリーに新層を加えた」との分析もあり⁶³、停滞気味だったストリーミング事業に技術革新で活路を見出す姿勢が好感されました。実際、Disney+は近年会員数こそ多いものの赤字が問題視されており、エンゲージメント低下も課題でした¹⁷。今回の提携でユーザー生成コンテンツという新要素を取り込み差別化を図ることで、**加入者の利用時間増加や解約率低下につながる可能性**があります。それにより広告収入や将来的な課金サービス導入など、新たな収益源創出も期待できるでしょう。

また、**制作コスト面の効率化**も業績にプラス要因と見られています。ディズニーはAIを社内導入して映像制作ワークフローを部分自動化・省力化する方針で⁸、クリエイターの補助にAIツールを使うことで長期的に**製作費の削減や制作スピード向上**が見込まれます。ボブ・アイガーCEO自身「生成AIでストーリーテリングの幅を広げつつクリエイターと作品を守る」と述べており⁷⁶、現場の生産性向上とコンテンツ供給力アップに自信を示しています。これらは**業績改善（コスト削減と売上増）の両面**に効いてくる可能性があり、投資家も注目しています。

さらに、今回の**OpenAI株への出資**そのものも財務戦略的メリットがあります。ディズニーは10億ドル出資に加え追加取得権も得ており¹²、OpenAIの企業価値が今後上昇すれば出資益を享受できます。生成AI分野は依然急成長中で、Microsoftなどが巨額投資していることもあり、OpenAI株の将来価値に期待する向きもあります。ディズニーとしては**自社でAI研究開発するコストを抑えつつ、有望AI企業に乗る形でリスクとリターン**を取る戦略と言え、投資家から「理にかなった一手」と評価されています。

ただし、株式市場全体ではAIブームへの懸念も出始めています。LAタイムズは「OpenAIは一時は市場の救世主と見られたが、リスクが高まり重荷になりつつある」と分析しており⁶⁷、AI銘柄の加熱感や規制リスクには注意が必要との指摘もあります。Oracleなど一部企業の決算でAI投資負担が嫌気され株価急落した例も報じられており⁷⁷、「**AIなら何でも株価上昇**」の段階は過ぎつつあるのも事実です。しかしディズニーに関して言えば、既存IPという強みを活かした具体的な活用策が提示されたことで、「単なるAIバズワード追随ではなく自社事業とシナジーがある」と受け止められています⁶³⁷⁸。実際、証券アナリストらも「ディズニーのAIへの傾斜は**慎重だが前向き**に評価できる」とし、目標株価を引き上げる動きも見られました（例：Rosenblatt証券は目標\$141に設定⁷⁹）。総じて、今回の提携は**短期的にも投資家心理を改善**し、ディズニー株に追い風となったといえます。長期的にも、このAI戦略がDisney+の競争力強化や新ビジネス創出に寄与すれば、企業業績へのプラス効果が期待されます。

今後の展開予測

今回のディズニー×OpenAI提携は、エンターテインメントとAIの融合という大きな潮流の幕開けとも位置づけられます。**今後3年間のライセンス契約期間中**、まずは2026年初頭からSora上でファン制作動画が量産されるでしょう⁸⁰⁸¹。ディズニーはその一部をDisney+で配信しユーザーの反応を探るとともに、人気の二次創作アイデアや組み合わせを分析する可能性があります。Toonstar社のアタナシオCEOが指摘するように、ファン作品から**新たなスピンオフ企画のヒント**が得られたり、人気UGCクリエイターを公式採用するような動きも考えられます⁵⁸。ディズニーとしては、ファンの創造力を取り込んでIPを拡張する「ボトムアップ型」のコンテンツ開発にも踏み出すかもしれません。

技術面では、OpenAIはディズニーとの協業を通じて**AIモデルのさらなる高度化とフィルタリング精度向上**を図るでしょう。特に、提供キャラクターが不適切に使われないよう**ガードレールの強化**は今後も重要課題です⁸²。Fortnite上でAIにダース・ベイダーに汚い言葉を喋らせる事案が話題になったように⁸³、ユーザーは想定外の使い方を試みます。OpenAIとディズニーは共同で不適切コンテンツの検知・排除システムをアップデートし続ける必要があります。これは他のスタジオIPを扱う際のモデルケースともなり、今後WarnerやNBCユニバーサルなど他社も**類似のライセンス供与に踏み切る可能性**があります。実際、ディズニーとユニバーサルはMidjourneyに対し共同で著作権訴訟を起こしていますが⁸⁴、今後OpenAIのように対価を支払うAI企業が増えれば、訴訟より提携による解決が主流になるかもしれません。

プラットフォーム戦略としては、ディズニーは**Disney+への生成AI統合**を本格化させるでしょう。アイガーCEOはユーザーがDisney+内でAI動画を作成・共有できる未来像に言及しており⁴⁹、UIの刷新やインフラ整備が進めば数年以内に**公式アプリで誰もが簡単にディズニーAI動画を作れる時代**が来る可能性があります。そうなればDisney+は動画視聴サービスから**ファン創作コミュニティ**へと進化し、YouTubeやTikTokと競合する存在となるかもしれません¹⁴¹⁵。

クリエイターとの関係では、今回の合意が将来の労使交渉にも影響を及ぼすでしょう。WGAやSAGはAI利用に関する取り決めを労働協約に盛り込み始めています。ディズニーがファン生成コンテンツを配信・収益化する際には、その元になった脚本やキャラクターデザインの創作者への**追加報酬やクレジット付与**など、新たなルール作りが求められる可能性があります⁵⁰。もしファン動画が人気になりDisney+で広告収入を得るような場合、UGC制作者本人へのインセンティブ提供（収益分配）も検討課題となるでしょう。ディズニーが掲げる「クリエイターと作品を尊重し保護する」姿勢⁷⁶を具体的に示すためにも、プロのクリエイターのみならず**UGCクリエイターとの新たな共存モデル**を築けるか注目されます。

最後に、今回の提携は**他のメディア企業やテック企業への波及**も避けられません。Netflixは既にユーザー参加型のコンテンツ開発に関心を示し、AmazonもAIスタートアップに出資するなど動きがあります¹⁸。ディズニーとOpenAIの成功如何では、他社も人気IPを引っ提げて生成AIサービスに参入したり、自社AIモデルを開発してUGCを促進するといった展開が予想されます。逆に、GoogleやMetaのようにディズニーから警告を受けた企業は対応を迫られるでしょう⁶⁷。ライセンス料を支払ってでもIPを使いたいAI企業と、自社IPの価値維持を図るコンテンツ企業の思惑が交錯し、**業界再編や新たな提携ドミノ**が起こる可能性があります。

以上より、ディズニー×OpenAIの提携は現在進行形のプロジェクトであり、2026年以降の展開次第ではエンターテインメント産業の構造を大きく変えるポテンシャルを秘めています。ファンとしては夢のコラボ動画が作れる期待と、作品の質低下への不安が混在する状況ですが、ディズニーが掲げる「思慮深く責任あるAI利用」⁷⁶が実現されるかどうか、今後の推移を注視する必要があるでしょう。

85 35 37 50 68

1 2 3 4 5 24 25 33 34 36 40 59 ミッキーもダース・ベイダーもAI動画に！ディズニーがOpenAIに1500億円出資、動画生成AI「Sora」で実現する夢の創作世界とは - coki (公器)
<https://coki.jp/article/news/64687/>

6 7 82 Disney invests \$1B in OpenAI in deal to bring characters like Mickey Mouse to Sora AI video tool | AP News
<https://apnews.com/article/disney-openai-sora-ai-artificial-intelligence-df8be1fe52e9b9c46d965577d3974d3b>

8 11 12 39 41 44 47 52 85 ディズニー、オープンA Iに10億ドル出資 「ソラ」に主要キャラ提供 | ロイター
<https://jp.reuters.com/markets/japan/NSRR7T32OFJJ5MTA73ULJCGESI-2025-12-11/>

9 19 20 21 35 37 38 43 48 76 80 81 The Walt Disney Company and OpenAI Reach Agreement to Bring Disney Characters to Sora | The Walt Disney Company
<https://thewaltdisneycompany.com/disney-openai-sora-agreement/>

10 13 45 50 51 53 54 55 56 60 61 77 84 Disney to invest \$1 billion in OpenAI, license characters for Sora video tool | Reuters
<https://www.reuters.com/business/media-telecom/disney-makes-1-billion-investment-openai-brings-characters-sora-2025-12-11/>

14 15 16 17 18 49 57 58 62 74 75 83 Disney Bets OpenAI Can Help Solve Engagement Problem, Woo Young Fans - Business Insider
<https://www.businessinsider.com/disney-taps-openai-to-solve-engagement-problem-woo-young-fans-2025-12>

22 23 42 46 64 Disney Invests \$1 Bln In OpenAI, Opens Sora Access To 200+ Iconic Characters | Nasdaq
<https://www.nasdaq.com/articles/disney-invests-1-bln-openai-opens-sora-access-200-iconic-characters>

26 27 28 29 30 31 32 Sora is here | OpenAI
<https://openai.com/index/sora-is-here/>

63 65 66 78 Disney Gets a Lift as OpenAI Deal Adds a New Layer to Its Long-Term Growth Story | Investing.com
<https://www.investing.com/analysis/disney-gets-a-lift-as-openai-deal-adds-a-new-layer-to-its-longterm-growth-story-200671678>

67 Disney invests \$1 billion in OpenAI, licenses Mickey Mouse to Sora AI platform - Los Angeles Times
<https://www.latimes.com/entertainment-arts/business/story/2025-12-11/disney-invests-1-billion-in-openai-licenses-mickey-mouse-to-sora-ai-platform>

68 69 70 71 72 73 Disney signs deal with OpenAI, disappointed fans react
<https://www.dailydot.com/entertainment/disney-signs-deal-with-openai/>

79 Walt Disney Company Stock (DIS) Opinions on OpenAI Partnership
<https://www.quiverquant.com/news/Walt+Disney+Company+Stock+%28DIS%29+Opinions+on+OpenAI+Partnership>